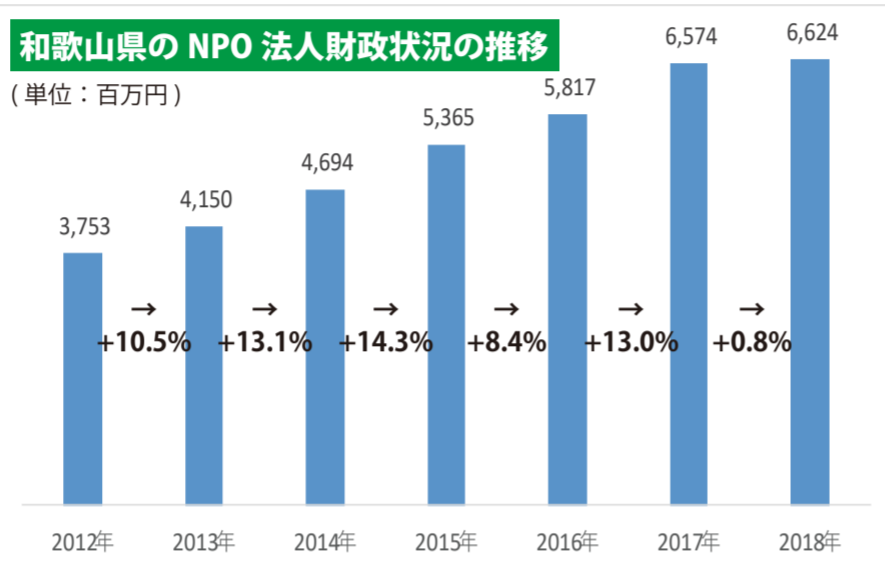




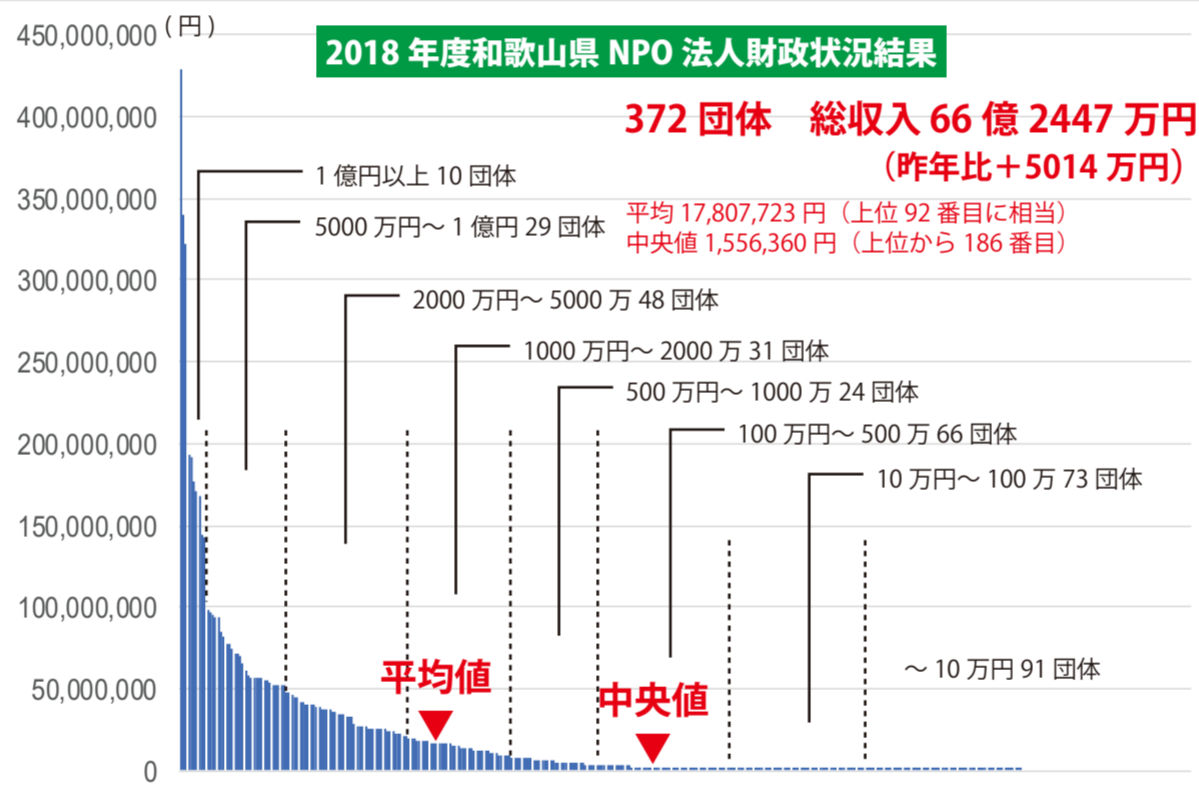
## 県内 NPO 法人の経済規模、前年比微増にとどまる

2012年以降、毎年8月にわかやま NPO センターが実施している、県内 NPO 法人の経済規模調査。今年の調査では、経済規模は過去最高を記録しましたが、前年比 0.8% 増にとどまり、ここ数年続いていた拡大傾向はひと段落しています。それでも 66 億円あまりと経済規模として無視はできないレベルを維持していることがわかりました。



**二桁成長は止まる**  
今年8月末時点でとりまとめた、県内 NPO 法人の直近1年間の総収入額は約66億2千万円と、前年調査時と比較して0.8%の増加となり、過去最高を更新しました。統計を取り始めた6年前以降、毎年約1割程度の伸びを見せてきましたが、今年は伸び率としては調査開始以来最も低くなりました。経済規模の拡大基調が落ち着いたと判断できるかどうかは来年以降の数字を見ないと判断できませんが、年間収入が1千万円以上の法人は昨年調査時の123法人から118法人と5法人減っており、やや規模を縮小した法人があるものと思われる。

**経済規模だけでは測れない 多様な NPO 活動**  
左図の通り、全 NPO 法人の平均収入は約1780万円となりましたが、今回の集計対象となった法人数372の中央値、すなわち上から186番目の団体の収入は約156万円となっており、収入の多い団体が全体の平均を大きく引き上げていることがわかります。この傾向は必ずしも変わっていません。内閣府等による調査でも同じような傾向がみられます。



しかし収入規模が1千万円未満の団体でも職員を雇用し、活発に事業を展開しているとみられる法人も少なく、また収入自体は多くないものの理事等のボランティアな活動により社会的意義の大きな事業をおこなっている法人もあります。活動の内容も手法も多種多様な NPO 法人は、経済規模だけではその評価をおこなうことができません。しかし66億円という経済規模は、地域では無視できないほどの大きさでもあります。

**【調査方法】**  
2018年8月24日時点で公開されている、和歌山県認証 NPO 法人の直近年度の事業報告書から、各法人の収益を①会費、②寄附金、③補助金・助成金、④事業収益、⑤その他、の5つに分類して単純集計しました。法人から報告されている数字をそのまま転記しています。NPO 法人会計基準等に準拠していない法人等もあるため、分類等については 100% の信頼性は担保されているわけではありません。ご了承ください。

### みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- アイリッシュハーブとフルートのコンサート  
登録有形文化財の郭家住宅洋館で開催。  
日時 10月8日(月・祝) 18:30~19:30  
場所 郭家住宅(和歌山市今福1-6-6)  
参加費 無料  
問い合わせ 郭家住宅の会事務局 (090-1983-1366)
- 骨粗しょう症予防「ほねほねさんシリーズ」  
5回シリーズで学びます。  
日時 ①10月12日(金)、②10月19日(金)、③11月2日(金)、④11月9日(金)のいずれも10:00~11:30、⑤11月5日(月)もしくは6日(火) どちらかの10:00~13:00  
内容 ①~④は講話と運動の実践、⑤は講話と調理実習  
場所 和歌山市北保健センター  
対象 和歌山市在住の40歳以上の方で5回とも参加できる方  
定員 35名  
参加費 無料  
問い合わせ・申込み 和歌山市北保健センター (073-464-5051)
- 不登校についての研修会  
不登校に関する相談場所や活用できる社会資源等について学びます。  
日時 10月16日(火) 13:30~15:00  
場所 まちライブラリー(和歌山市内原「マイパレット」内)  
参加費 無料(座談会に参加される場合は茶菓子代300円)  
定員 20名(要申し込み・申込みはウェブサイトから [https://www.kokuchpro.com/event/huto\\_ko/](https://www.kokuchpro.com/event/huto_ko/))  
問い合わせ 一般社団法人和乃絆 (073-412-8010)
- 就職活動を考えている君へ③  
講師のお話と面接対策ワークで正社員を目指しましょう。  
日時 10月17日(水) 13:00~15:30  
場所 ジョブカフェわかやまセミナールーム(Wajima 本町ビル3階)  
内容 講演「和歌山から日本プロジェクトを実現」(glafit 株式会社 CEO 鳴海禎造さん)、講座「あなたを活かす面接力とは」  
対象 若年求職者・学生等  
参加費 無料(要申し込み)  
定員 20名  
問い合わせ・申込み 若年者地域連携事業推進センター (073-421-8002)

### NPO 法施行 20 周年・わかやま NPO センター「認定 NPO 法人化」記念事業

## シンポジウム 地域づくりのこれから

市民主体の公益活動を担う団体が法人格を取得することができる「特定非営利活動促進法(NPO法)」が施行されて今年12月で20周年を迎えます。全国では約51,000、和歌山県内では約390の特定非営利活動法人(NPO法人)が活動しており、地域で様々な活動を展開しています。一方、地域は人口減少のほか、少子化の進行や高齢化率の上昇など、地域の活力が失われかねない事態が目の前に迫っています。今後の地域づくりは、行政だけではなく、市民や企業等、地域を構成する様々な主体との連携・協働が欠かせないといわれています。そこで、今回のシンポジウムでは特に市民主体の公益活動「市民活動」と行政との関係をベースに、地域づくりの今後を考えます。

**日時 ● 10月21日(日) 13:30 ~ 16:30**  
**場所 ● ホテルアバローム紀の国 鳳凰の間**  
**参加費 ● 無料** (終了後に懇親交流会あり。参加費5,000円予定)  
**定員 ● 100名** (要申し込み)  
**対象 ● NPO・ボランティア団体関係者、地方議会議員、行政関係者、その他地域づくりに関わっているみなさま**

参加をご希望の方は、お名前、ご所属、連絡先、懇親会(会費5,000円予定)参加の有無、以下のアンケートへのご回答を添えて、電話・FAX・E-mailでわかやま NPO センターまでお申し込みください。

**【アンケートにご協力ください】**(個人を特定しない形で集計し、当日集計結果をお知らせします)

- お住まいの自治体における協働推進の必要性について、どうお考えですか?  
a) とても必要である b) 必要である c) 必要ではない d) わからない
- お住まいの自治体における協働推進の施策体系の整備状況について、どうお考えですか?  
a) 進んでいると思う b) あまり進んでいないと思う c) 進んでいない d) わからない
- お住まいの自治体における住民自治の拡充の必要性について、どうお考えですか?  
a) とても必要である b) 必要である c) 必要ではない d) わからない

### 【1】県内市町村「協働」実態調査報告

これまで5回、都道府県と主要都市で実施された「市民と行政との協働」に関する実態調査を今年9月、和歌山県全市町村を対象に実施。市民と行政の「協働」を進める制度はどうなっているのか、結果を報告します。

### 【2】講演「地域づくりの主役は誰か」

講師：川北秀人さん(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表)  
今後5年、10年、15年後…と将来を見据えたまちづくりのあり方を提案し続けている川北さん。昨年7月、今年2月の和歌山市内での講演も大きな反響をいただきました。今後のまちづくりに必要な視点、実践に必要なポイント等をたっぷりとうかがいます。

### 【3】鼎談「NPO・市民活動への応援メッセージ」

パネリスト：川北秀人さん、上前喜彦さん(素和歌)、堀内秀雄(わかやま NPO センター副理事長)  
講演をいただいた川北さん、和歌山と京都と行き来しながら音楽活動をおこなっている上前さん、そして和歌山県内の NPO 活動を草創期から見守ってきた、わかやま NPO センター副理事長の堀内の3名による「有識者×市民代表×NPO」のクロストーク。やわらかく、これからのまちづくりに必要な要素をひもときます。

### 【4】市民活動へのメッセージソング

「ありのまま(素)なごやかに(和)うたう(歌)」をコンセプトに活動するユニット「素和歌」。上前喜彦さんと実理さんによるすてきなライブ。今後のまちづくりに向けて一緒に元気になりましょう!

特定非営利活動法人わかやま NPO センター  
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12  
TEL 073-424-2223 (平日10時~17時・業務都合で不在のことがあります)  
FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp